

2014年12月26日

報道関係者各位

東急リバブル株式会社
凸版印刷株式会社
株式会社三菱東京UFJ銀行
三井住友信託銀行株式会社
ソニー銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社

不動産流通企業と金融機関の協働による新サービス

タブレット端末による『住宅ローン事前審査申込システム』の本格運用開始

～三菱東京UFJ銀行に加え、三井住友信託銀行・ソニー銀行の運用開始、東急リバブル全国店舗へ順次拡大～

東急リバブル株式会社（代表取締役社長：中島美博）、凸版印刷株式会社（代表取締役社長：金子眞吾）、株式会社三菱東京UFJ銀行（頭取：平野信行）、三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：常陰均）、ソニー銀行株式会社（代表取締役社長：石井茂）、三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長：若林辰雄）は、タブレット端末を使用した『住宅ローン事前審査申込システム』について、2015年1月以降、本格運用を開始いたしますので、お知らせいたします。

今般、6社が本格運用するシステムは、凸版印刷が開発したASPサービス、ペーパーレス申込システム「Smart Entry Tab（スマートエントリー・タブ）」をタブレット端末専用のアプリとして住宅ローンの事前審査申込に活用したものです。

本システムを利用することにより、専用申込用紙への手書きによる記入に比べ、お客様の負担軽減、審査スピードの向上、情報セキュリティの強化を実現できます。運転免許証や名刺等の読み取り機能によって該当項目が自動入力されるほか、1回の入力で複数行への審査依頼が可能となり、お客様の手間を大幅に削減することが可能です。

昨年10月より、東急リバブルの2店舗にて、三菱東京UFJ銀行への住宅ローン事前審査申込を対象に試行を開始いたしました。また、本年8月からは東京都の城南エリアを中心とする13店舗に拡大し、iPad（※1）版アプリによる試行を行ってまいりました。

この間、試行店舗において三菱東京UFJ銀行へ申込みをされたお客様の内、約半数の方に本システムをご利用いただき、操作性の確認やお客様からの評価などが得られたため、本格運用開始に至りました。

このたびの本格運用開始にともない、1月より東急リバブルでの導入店舗を23店舗（※2）に拡大いたします。同社では、すでに売買仲介営業の全担当がiPadを携行しているため、2015年度末までに全国のリテール売買仲介店舗へ導入していく予定です。

また1月より、従来の三菱東京UFJ銀行に加え、三井住友信託銀行およびソニー銀行に対する申込みにも、新たに本システムの運用を開始いたします。（※3）さらに、今後は三菱UFJ信託銀行への申込みにも運用を予定しており、みずほ銀行をはじめ、その他の金融機関に対しても検討を依頼しています。

※1：iPadはApple Inc.の商標です。

※2：【首都圏】学芸大学、自由が丘、田園調布、目黒、五反田、武蔵小山、旗の台、大井町、大森、蒲田、二子玉川、たまプラーザ、藤が丘、青葉台、長津田、つくし野、つきみ野、町田、鴨居の各センター

【仙台】仙台、仙台駅前、泉中央、長町南の各センター

※3：当初の取扱い店舗は学芸大学、自由が丘、田園調布、目黒、五反田、武蔵小山、旗の台、大井町、大森、蒲田の各センター

注）住宅ローンの事前審査は、お客様が直接金融機関に申込みのうえ、東急リバブルおよび凸版印刷が受け付けるものではありません。

■ 『住宅ローン事前審査申込システム』 の主な特徴

1. お客様の負担軽減

- ① タッチペン入力により記入負担を軽減。また、タブレット内蔵カメラでの撮影により、運転免許証からお名前・生年月日・住所・免許証番号、名刺から会社名・所属部署・お勤め先住所・電話番号などの自動読み取りが可能。
- ② 1回の入力で複数行への審査依頼が可能。

2. 審査スピードの向上

申込情報は連携する金融機関にデータ伝送されるため、審査期間が従来の 1 週間程度から約 2～3 日まで短縮可能。

3. 情報セキュリティの強化

申込内容はタブレット端末を通じて、すべてクラウド上にデータ暗号化され保管されるため、申込書の F A X 送信作業が不要。それにともない、F A X 誤送信リスクの軽減および情報セキュリティの向上が図れます。

以上